

令和5年度 地区研修園 研修報告

*地区名 南部地区

*園名 若林こどもの園

*研修主題

「こどものあそびと心の考察」 ドキュメンテーション

*設定理由

一人一人の発達や成長を様々な角度から考察することで、こども理解を深める

*研修の進め方

定期的に撮りためておいたこどもの様子を動画や写真にし、職員研修会において写しだし考察していく

また、公開保育勉強会を設け、各園からの取り組みを出し合うきっかけとしていく

*研修経過

「ドキュメンテーションとは何か？」

「何故必要なのか？」ということから学び、複数の職員に同じ画像を見ていった。そこから考えられるこどもの姿を考察していった。

そこで、同じ画像でも見る人、見る角度が違っていると感じ方も違うことに気付きがあった。

様々な意見があることを職員全体で認め、今後の子ども情報を共有し、職員の「子どもを見る目を養う」という点を重視していくところから研修の第1歩がスタートしていった。



2回目以降の職員研修として、動画を見て、子どもの考察をしていった。動画を見ていくことで、職員自身振り返りができ、保育の改善点に着眼できた

*実践報告



公開保育当日、年長組の日常の生活=遊びの広がり/子ども同士の関わりについての動画を観ていただいた。

とても活発で興味関心が強い子ども達で、自分の意見を持っているという「強みを生かした活動」として年長組『こども会議』に参加していただいた。

第1回目「こども会議」を振り返り、新たに「ふわふわことば」「ちくちくことば」について子ども達が意見を述べていった。



今回の公開保育にご参加いただいた先生方から、実際の取り組みを観ての感想やご意見、また、自園での取り組みをお聞きすることができ、今後の参考にさせていただく内容となった。



*振り返り

今回は、主に年長児に視点をあて、「ふわふわことば」と「ちくちくことば」について子ども達と共に5月から考えていった。

なかなか折り合いをつけるのが難しい年長児。日頃の姿や関わり合い、遊びを動画に撮り為、職員間で子ども一人一人の心の動きや背景を考察していく中で「点」から「線(繋がっている)」で観る「目」を養うことに心掛けた。

*終わりに

11月に行った公開保育勉強会では、秋になり、張り合うことが多かった年長児が誘い合ってグループを作る姿や輪になって楽しく遊ぶ様子の動画を観ていただいた。

また、「こども会議」では5月に行った「ふわふわことば」と「ちくちくことば」について、再度議題に上げ、使わなくなった「ちくちくことば」が数多く出てきたことに気付いた。

「どうして使わなくなったのかな？」の担任の言葉に、しばらく考えて、「う～ん 成長したから」という子どもの声に、会場にいた大人全員の顔が緩んだのが印象的だった。